

令和4年度事業計画

1 基本方針

昨年度を振り返りますと、世界的にパンデミックを引き起こしている新型コロナウイルス感染症は、経済・社会活動に大きな影響を及ぼしました。

また、国内では少子高齢化と人口減少の進展、経済・社会の活力を維持するために高年齢者雇用安定法が改正され、70歳までの就業機会の確保（努力義務）が新設されました。

このような中で、当センターを取り巻く環境は、契約の解除、就業の一時停止や時間短縮、7年ぶりの会員減少等、大変厳しい事業運営が迫られました。一方で、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した入会説明会の開催やコロナ関連の新規事業受注拡大等により、会員数や受託事業の減少に歯止めをかけることができました。

今年度は、第4次中長期基本計画の2年目となります。会員拡大と就業先拡大を重点目標に掲げ、地域ニーズに応じた新規事業の獲得や女性会員の活躍拡大、事務局運営の効率化やIT化等の計画達成に向けて取り組みます。

特に、新しい生活様式を考慮しつつ、ポスティングやシルバーサロンによる普及啓発活動の積極的な展開、入会希望者へのアプローチ（働きかけ）を強化するためのホームページの刷新、企業や市役所への計画的な訪問活動により多様な就業機会の開拓を進めてまいります。

2 事業計画

（1）センターの組織体制の強化

①総会出席率の向上

総会への参加意識と出席率の向上を図るため、広報紙や各種会議等で参加を促す。

また、昨年度の総会出欠席無回答者には、通知文の送付と電話連絡を行い、委任状及び議決権行使書の提出を含め、出席率85%以上を達成する。

②地域班機能の見直し

ウィズコロナの新しい生活様式の中で、濃厚接触を避けるため書面や電話、メール等の様々な手段を活用した新しい班活動の推進を図る。

③地域班役員の活性化

地域班設置要綱の改正により、役員任期を3期までとし、令和6年5月に大半の役員が任期満了を迎えることから、任期満了日の周知について、地域班地区長会議、全体会議及び委嘱状に満了日記載等を行い、円滑な役員交代に向けて準備を進める。

また、誰もが役員を担当しても運営出来るよう地域班活動マニュアルの活用を促し、地域班活動全体の活性化へ繋げていく。

④未就業相談会の開催

毎月1回（最終水曜日）を未就業相談日とし、未就業会員との面談を通じて希望職種等の把握に努め、就業紹介に繋げていく。

また、地域に密着した地区別出張未就業相談会を実施する。

⑤職群班活動の推進

会員相互の連携、安全就業、情報の共有化及び事業拡大を図るため、職群班毎の定期的な会議や講習会等の自主的な活動を促進する。

職群班会議

パソコン班6回、除草班4回、駐輪場班4回、植木班10回
講習会及び研修会

除草班：刈払機講習会（1回）、駐輪場班：接遇研修会（1回）、福祉・家事援助サービス班：接遇研修会（2回）、植木班：剪定講習会（2回）

⑥IT化の推進

「柏シルバーだより」は、ホームページによる閲覧を促進し、郵送を縮小して経費節減に努める。

オンラインを活用した会議については、ニーズの把握と効果について検討する。

（2）事務局体制の強化

①事務局組織の強化

新規職員のOJTを計画的に進め、総務企画課と業務課の業務量の変化に対し、より柔軟に対応できるよう職員の多能化を推進する。

②他市センターの情報収集

東葛地区シルバー人材センター連絡会議や県内7市シルバー人材センター意見交換会等に参加し、情報収集を行う。

また、先進的な取り組みを行っているシルバー人材センターへ専門部会と職員の視察研修を実施し、情報収集に努める。

③ 会員と役員・事務局職員の連携強化

専門部会や委員会、地域班等の活動を通じて意見交換の場を設け、会員と役員、事務局職員との意思統一を図り、連携強化に繋げる。

④ 専門部会の所管事項の整理及び再編

各部会の所管事項の明確化を図り、事業推進の効率化を推進する。

(3) 会員の拡充と広報の充実

① 会員の拡大

入会促進ポスターの町内会掲示板への掲示やホームページへ入会説明会開催日時を適宜掲載し、市民へのPRを高めるとともに、毎月開催の入会説明会は、希望者数に応じて回数を増やして行う。

また、会員数が少ないエリアに対し、ポスティング活動を行うとともに、パレット柏で開催するシルバーサロンで広く市民へPRすることで新入会員の確保に繋げる。

更に、女性限定入会説明会を開催し、女性会員の拡大を促進し、前年度末会員数の50名増を目標とする。

② ホームページの掲載内容の充実

会員と発注者へ情報をスピーディーに提供するため、最新の情報を迅速に掲載する。

また、潜在的入会希望者へ積極的にアプローチするため、掲載内容のリニューアルを行う。

③ 広報DVDの制作

令和元年度に作成したDVDを更新し、活用の拡大について検討する。

④ 広報紙「ゆずりは」と「柏シルバーだより」の掲載内容の充実

広報紙「ゆずりは」は、センターの現況に関する情報、地域班活動のレポート、素敵な会員の紹介等をタイムリーに伝えるため、年4回発行する。

「柏シルバーだより」は、広報紙「ゆずりは」発行の間隙を埋め、情報提供頻度を高めるため、年8回発行する。特に、地域班活動の活性化に尽力されている地区長、班長及び副班長に、“柏シルバーの今”について、速報をもってお知らせすることを主眼として作成し、ホームページへ掲載して会員にも提供する。

⑤ 研修計画の策定と研修メニューの開発

発注者からの声や就業会員、女性会員交流会等からの意見を聴取して研修ニーズの把握に努め、研修内容を検討する。

(4) 就業機会の確保・拡大

① 新規就業先の拡大

ジョブコーディネーターによる新規顧客の訪問目標を1人月1社以上とし、新たな就業先の拡大を図る。

また、柏市や柏市生涯現役促進協議会と連携を図り、求人情報の収集、就労セミナーや地区別ミニ集会へ参加し、新たな職種の受注に努める。

更に、専門部会員による個人宅へのチラシ配布や、ジョブコーディネーターによるリーフレット等、大手コンビニ店舗への配架を行い、受注拡大に繋げる。

② 家事援助サービス事業の推進

家事援助就業に対する関心を高めるため、就業情報を広報紙等で発信し、就業者の拡充を図る。

また、家事援助就業者を対象とした交流会を開催し、事業推進の環境作りを行う。

③ 請負・委任及び派遣事業の拡充

ジョブコーディネーター、職員及び就業開拓部会員が一丸となって、既存発注先での就業拡充並びに新規就業先の開拓に取り組み、会員の就業場所の確保と契約高の拡大に努める。

④ 独自事業の充実

空き家管理について、柏市と連携を図り、ニーズの把握と問題点について協議し、受注獲得のための検討を行う。

シルバー学び隊事業は、既存事業に対する再開と新規事業の展開に向けてサポートを行う。

⑤ 新規事業の推進

学校校務支援業務やこどもルームの就業等の拡大に努める。

また、令和5年度市議会議員選挙の公報全戸配布に向け、配布体制の整備に取り組む。

⑥ 顧客満足度の向上

発注者の満足度と信頼を維持し向上するため、常に会員の就業状況把握と就業内容の改善やサービスの向上に努める。

⑦ 計画的な発注者訪問

大口契約先への計画的な訪問を行う。

また、訪問時には就業者の増員や軽易な単発業務等の追加的要望等の情報収集にも努め、就業機会の拡大に繋げる。

⑧ 適正就業の確保

「適正就業の自主点検表」を継続的に活用し、適正な就業環境の確保を遵守する。

また、新規就業会員に対しては、誓約書の提出を求め、誠実な就業の履行と安全意識の向上を推進する。

(5) 安全管理の推進

① 安全委員会の機能強化

安全委員会を年6回開催し、事故原因の検証や改善策の検討を行い、ジョブコーディネーターや就業開拓部会に情報提供を行う。

② 安全パトロールの実施

安全委員会開催時に12か所(6回×2か所)の安全パトロールを実施し、就業場所の作業環境や作業実態を確認するとともに、必要な安全指導を行い事故防止に努める。

③ 事故の削減

新入会員研修や事故経験者を対象とした安全研修(4回)を実施し、安全就業の意識付けをする。

また、就業途上の事故を削減するため、高齢者の交通事故防止講座を実施する。

更に、事故の発生情報や注意喚起、講習会の開催について、広報紙「ゆずりは」や「柏シルバーだより」、地域班や職群班会議等で適時に会員へ情報提供し、事故発生件数を、前年度比25%削減する。

④ 健康診断書の提出

会員の自主的な健康管理を促進し、健康で活力ある就業を継続していくため、年1回の健康診断受診と健康診断書(写)の提出を広報紙等で呼びかけ、就業会員の提出率100%を目指す。

(6) 経営及び事業運営の基盤整備

① 経営視点での事業運営

今年度からゆうちょ銀行への配分金振込手数料の有料化により、支出額が増加する。事業運営の安定化を図るため、受注拡大による事務費及び派遣手数料収入の安定的な確保に努めるとともに、就業内容に応じた配分金単価の適正化を図る。

② イベントの開催

新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら、センター主催のイベント開催を検討する。

(7) 地域社会への貢献

① 地域イベントへの積極的な参加

地域の夏祭りやボランティア活動等に積極的に参加し、センターのPR活動を行う。

② 地域貢献

柏市や柏市生涯現役促進協議会等と連携を深め、セミナーやオンライン会議等の様々な機会を通じて情報共有を図り、地域社会への貢献に努める。

③ 会員と市民、会員相互の交流推進

会員と市民及び会員相互の交流・親睦を深めるため、シルバーサロンを3回開催する。

また、女性会員同士の情報交換による繋がりの強化と活躍の場の拡大に向け、女性会員交流会を4回開催する。